

# 平成19年度末 鉄軌道駅におけるエレベーター・エスカレーター設置状況

平成20年3月31日現在

事業者名	総駅数	1日あたりの平均利用者が5千人以上かつ高低差5m以上の全駅数 A	エレベーター(Ev)を設置している駅数			エスカレーター(Es)を設置している駅数		
			うち5千人以上かつ5m以上の駅数 B	5千人以上かつ5m以上の全駅数に対する割合(%) (B/A)*100	うち5千人以上かつ5m以上の駅数 C	5千人以上かつ5m以上の全駅数に対する割合(%) (C/A)*100		
JR北海道	465	28	26	19	68%	20	15	54%
JR東日本	1,690	348	363	264	76%	343	289	83%
JR東海	398	84	67	61	73%	45	43	51%
JR西日本	1,220	229	216	172	75%	116	104	45%
JR四国	259	5	10	4	80%	6	4	80%
JR九州	555	47	64	35	74%	31	24	51%
<b>JR旅客会社6社 小計</b>	<b>4,587</b>	<b>741</b>	<b>746</b>	<b>555</b>	<b>75%</b>	<b>561</b>	<b>479</b>	<b>65%</b>
東武鉄道	195	91	66	58	64%	70	65	71%
西武鉄道	91	53	51	45	85%	47	40	75%
京成電鉄	64	39	29	27	69%	31	28	72%
京王電鉄	68	43	47	41	95%	32	31	72%
小田急電鉄	70	61	60	58	95%	32	31	51%
東京急行電鉄	88	63	64	59	94%	41	40	63%
京浜急行電鉄	71	56	38	35	63%	29	28	50%
相模鉄道	24	23	21	20	87%	20	19	83%
名古屋鉄道	274	62	53	39	63%	26	25	40%
近畿日本鉄道	327	83	74	55	66%	76	60	72%
南海電気鉄道	99	39	21	19	49%	27	26	67%
京阪電気鉄道	84	36	30	28	78%	29	28	78%
阪急電鉄	84	58	52	48	83%	37	37	64%
阪神電気鉄道	41	28	26	22	79%	24	21	75%
西日本鉄道	74	16	17	13	81%	16	11	69%
<b>大手民鉄15社 小計</b>	<b>1,654</b>	<b>751</b>	<b>649</b>	<b>567</b>	<b>75%</b>	<b>537</b>	<b>490</b>	<b>65%</b>
東京地下鉄	132	132	109	109	83%	109	109	83%
札幌市交通局	46	46	43	43	93%	36	36	78%
仙台市交通局	17	16	17	16	100%	17	16	100%
東京都交通局	98	96	79	78	81%	93	93	97%
横浜市交通局	40	39	39	38	97%	34	34	87%
名古屋市交通局	81	78	71	70	90%	78	75	96%
京都市交通局	31	28	31	28	100%	31	28	100%
大阪市交通局	100	94	99	93	99%	99	93	99%
神戸市交通局	25	20	25	20	100%	25	20	100%
福岡市交通局	35	23	35	23	100%	35	23	100%
<b>地下鉄10社局 小計</b>	<b>605</b>	<b>572</b>	<b>548</b>	<b>518</b>	<b>91%</b>	<b>557</b>	<b>527</b>	<b>92%</b>
<b>JR、大手民鉄、地下鉄 小計</b>	<b>6,846</b>	<b>2,064</b>	<b>1,943</b>	<b>1,640</b>	<b>79%</b>	<b>1,655</b>	<b>1,496</b>	<b>72%</b>
<b>中小民鉄、路面電車 小計</b>	<b>2,630</b>	<b>215</b>	<b>346</b>	<b>168</b>	<b>78%</b>	<b>317</b>	<b>177</b>	<b>82%</b>
<b>鉄軌道全体 合計</b>	<b>9,476</b>	<b>2,279</b>	<b>2,289</b>	<b>1,808</b>	<b>79%</b>	<b>1,972</b>	<b>1,673</b>	<b>73%</b>

注) 1. 本表は、鉄軌道駅での移動等円滑化経路の有無にかかわらず、エレベーター・エスカレーターが設置されている駅数を示している。

2. 新幹線が乗り入れている在来線の駅であって、在来線の駅を管理する事業者が新幹線の駅も管理する場合、当該在来線の駅に新幹線の駅も含み、全体で1駅として計上している。新幹線の駅と在来線の駅を別々の事業者が管理する場合は、別駅として計上している。
3. 以上の事業者の路線が乗り入れる駅であって、事業者間の乗換改札口が設けられておらず、改札内で相互乗換えができる場合は、全ての事業者の駅を含めて全体で1駅として計上している。この場合、代表して1事業者に当該駅を計上している。
4. 【 】内は平成18年度末の数値。